



第 13 回

小児アレルギーエディケーター スキルアップセミナー

2019年7月26日(金) 12:20~19:00

(受付開始 11:30~)

第 36 回日本小児臨床アレルギー学会 前日

<学術大会会場：和歌山県民文化会館 和歌山県和歌山市小松通り 1-1>

受講対象者は、小児アレルギーエディケーター (PAE) 及び本会会員と、今回は特別に、非会員の喘息等アレルギー疾患児の健康管理や指導に携わられている方 (医師、看護師、准看護師、保健師、薬剤師、管理栄養士、教職員、養護教諭、幼稚園教諭、保育士等) も受講できます。

<会場>

ホテルアバローム紀の国

2階 鳳凰の間

和歌山県和歌山市

湊通丁北 2-1-2

<定員・申込 URL>

200名(事前申込制)

<https://www.jspca36.jp/seminar.php>

<受講料(税込)>

PAE・会員：12,960円

非会員：18,360円

<付与単位>

小児アレルギーエディケーターには認定更新のための単位が付与されます。

(単位数：8単位)

主催：一般社団法人
日本小児臨床
アレルギー学会

〒183-8561 東京都府中市
武蔵台 2-8-29
東京都立小児総合医療センター
アレルギー科内
Tel: 042-300-5111
info@jspca.jp

プログラム概要

時間	タイトル	講師
12:20～12:30	開会の挨拶、注意事項	
12:30～14:30	成人喘息と COPD	国立病院機構和歌山病院 院長・呼吸器内科 南方 良章先生
14:30～14:40	休憩	
14:40～16:40	今、何をすべきか、何が出来るか ～日本栄養士会災害支援チーム JDA-DAT の活動を中心に～	公益社団法人 日本栄養士会 常務理事/JDA-DAT 総括 下浦 佳之先生
16:40～16:50	休憩	
16:50～18:50	アレルギー性鼻炎への舌下免疫療法徹底 解説（小児を含む）	ゆたクリニック院長/ 滋賀医科大学客員教授 湯田 厚司先生
18:50～19:00	まとめ	

「成人喘息と COPD」

講師：南方 良章先生〔国立病院機構和歌山病院 院長・呼吸器内科〕

主に好酸球性気道炎症である気管支喘息と、主に好中球性気道炎症である慢性閉塞性肺疾患(COPD)は、いずれも閉塞性換気障害をきたす疾患であるが、症状の出現状況、治療効果等に様々な差異がみられる。

また、気道上皮で産生される一酸化窒素（NO）の気道内への排出量の差から、呼気 NO 濃度は鑑別診断に有用と考えられている。本セミナーでは、両疾患の概念の解説と、スパイロメータと呼気 NO 濃度測定の実習を予定する。

「今、何をすべきか、何が出来るか～日本栄養士会災害支援チーム JDA-DAT の活動を中心に～」

講師：下浦 佳之先生〔国公益社団法人 日本栄養士会常務理事/JDA-DAT 総括〕

「食物アレルギーを持つ子どもの母親ですが、もう限界です。備蓄していた食料が底をつきます。何とかありませんか？」被災時のある母親の訴えです。大規模災害が発生し、せつかく助かった命を繋ぐため、我々は被災者の中でも要配慮者といわれる方々にいち早く手を差し伸べる必要があります。これまでの JDA-DAT の活動をとおして、特殊栄養食品ステーションの設置や避難所巡回による栄養相談等、「今、何をすべきか、何が出来るか？」を皆さんと一緒に考えたいと思います。

「アレルギー性鼻炎への舌下免疫療法徹底解説（小児を含む）」

講師：湯田 厚司先生〔ゆたクリニック院長/滋賀医科大学客員教授〕

アレルギー性鼻炎への免疫療法は非常に効果が高く、2018 年にスギ花粉とダニともに舌下免疫療法（SLIT）が小児にも保険適用となった。演者はこれまでに 1300 例を超える SLIT 治療導入例がある。安全で効果的な SLIT には経験に基づくノウハウがあり、本講演では演者の自験例の集積をまとめて紹介する。講演の前半で SLIT の基礎知識を概説し、後半で実際の臨床現場での留意点や治療成功へのコツを伝授したい。